



これは何の写真でしょう？

これは宇宙から見た地球の写真です。今から60年前、人類で初めてガガーリンという人がロケットに乗って宇宙へ行き、地球を見ました。地球は青く美しかったと話しています。

4月23日、アメリカからロケットが打ち上げられ、日本の宇宙飛行士、星出彰彦さんが宇宙へ飛び立ちました。

日本人宇宙飛行士は全部で12名います。現役で宇宙飛行士として仕事をしている人は7人います。星出さんもその一人です。



23日に打ち上げられた宇宙船「クルードラゴン」には宇宙飛行士が4人乗っています。



アメリカのメーガン・マッカーサーさん、フランスのトマ・ペスケさん、日本の星出彰彦さん、アメリカのロバート・キンブローさんです。星出さんは船長も務めます。外国の宇宙飛行士と一緒に

に宇宙に出て活躍するのは素晴らしいですね。

「クルードラゴン」の船内を見てみましょう。操縦席が4つあります。丸い窓もたくさんあります。この窓から宇宙を眺めたり、地球を見たりするのでしょうか。

23日にアメリカからロケットが打ち上げられましたが、宇宙船「クルードラゴン」はロケットの先端部分に付いています。打ち上げられるとしばらくしてロケットの1段目が切り離されます。切り離されたロケット



は捨ててしまうのではなく、また使えるように海に浮かぶ無人の船に着地します。またしばらく飛行すると2段目が切り離されます。そしていよいよ「クルードラゴン」が国際宇宙ステーションの軌道に乗ります。そして24日、国際宇宙ステーションに到着しました。「ク

ルードラゴン」の先端部分を開いて宇宙ステーションにドッキングします。到着した4人の飛行士が宇宙ステーションに移動すると、今年の11月から宇宙ステーションで生活していた野口聡一さんが出迎えてくれました。星出さんはこれから半年間滞在して、科学実験をしたり、小型宇宙船を飛ばしたりします。



宇宙飛行士は、あらゆる面で優れた能力が求められます。体力、そしてトラブルが発生したときに対処する判断力や精神力。狭い空間でいろいろな国の人と長期に及ぶ共同生活をするので人間性も問われます。国際的な宇宙飛行士として日本人が活躍するのは嬉しいですね。役目を果たして無事に帰ってきて欲しいですね。

さて、東京都に緊急事態宣言が出されました。新型コロナウイルス感染症が広がっています。できないことが増えてしまうのは残念です。スクールバンドの練習もしばらくお休みです。けれども、みんなのできることを協力して行い、一日も早く、普段通りの生活ができるようになって欲しいと思います。ルールを守って元気に安全に生活していきましょう。